

奈良教育大学 ならやまオープンセミナー公開講座

世界宗教における「祈り」

仏教・キリスト教・イスラームにおける祈りのありかたについて考える

★オンライン開催 (使用ソフト:ZOOM)

2022年 2月26日 (土) 13:00～15:30

日本社会はその歴史において、仏教・キリスト教・イスラームという外来の宗教を受け入れてきました。しかしながら、その受容の歴史を見る限りにおいて、日本社会では受容する人々の考えと信徒たちの思いが交差し、各宗教における様々な課題があったことは否めません。では、日本人はどのように外来宗教を受け入れていったのでしょうか。日本人の外来宗教の理解と受容について、「祈り」という共通の宗教行為を通して、考えます。

■参加をご希望の方は、参加者氏名・ご所属あるいは職業を明記の上、2月20日までに下記メールにお送りください（参加費無料）。

komura.akiko.8b@cc.nara-edu.ac.jp
(担当者：小村明子)

*追ってURL(ミーティングIDおよびパスワード)をお送りします。

※本講座は4人の講師によるシンポジウム形式で実施します。

※本講座は、科研費 研究活動スタート支援 21K19948「近代日本の知識人によるイスラーム理解の研究」(研究代表者 小村明子)および、科研費 基盤研究(C) 20K00059「初期仏教における経典読誦の研究」(研究代表者 平林二郎)の研究成果の一部です。

■講師

小村明子 (イスラーム担当)
奈良教育大学国際交流留学センター特任講師

五十嵐成見 (キリスト教担当)
聖学院大学心理福祉学部チャプレン・准教授

平林二郎 (仏教担当)
大正大学総合佛教研究所研究員

実松克義 (総合司会担当)
立教大学名誉教授

